



新潟県立長岡工業高等学校同窓会 東京支部会報

東京支部だより

第 22 号

発行人：支部長 金井 博光

編集：会報編集委員会



昭和 46 年 (1971 年) 当時の母校

母校も創立 122 周年目を迎えました。昭和 46 年当時の校舎はまだ木造建築でした。創立 120 周年には長岡祭りで記念花火を打上げました。

世代は繋がる

心が結ばれる

同窓の絆は永遠に



新潟県立長岡工業高等学校同窓会 東京支部

ご挨拶

支部長 金井 博光(S44M)

母校の同窓会には大別して3種類の組織が存在しています。学校に隣接する建物「長工会館」に拠点を置いている同窓会の本部、同窓生が数多く勤務している会社内の職域での同窓会、地域ごとに発足した同窓会があります。東京支部は地域同窓会の一つとなっております。他にも東海支部、関西支部、新潟支部等があります。



同窓会本部では「長工大賞」への対象者を選出し、毎年開催される本部の「総会・交流懇親会」行事において功績を称えております。

多くの受賞者は経験の積み重ねの中で成し遂げられた功績について表彰されておりますが、中には現役の生徒や卒業して間もない同窓生にも与えられています。

東京支部の会員が表彰される時は長岡に招かれ、同窓会長からの表彰を受けることとなります。昨年(令和5年9月)では、全体で4名の方が受賞されました。内3名が東京支部の会員となっております。他1名の方は平成31年に産業デザイン科を卒業された方で、現在も作業中の案件で表彰されております。

表彰された方や受賞内容につきましては本部のホームページ、及び東京支部のホームページに掲載されています。支部のホームページでは支部会員の受賞者を紹介させていただいております。最近受賞された方から支部独自の内容も盛り込んでおります。

長工大賞の意義は、「マスコミに掲載されることのない出来事の中にも、誇れる成果をお持ちの同窓が多くおられ、その方々を表彰することで、功績を認め称賛したい」という想いが中心となっております。長工大賞が発足して11年(母校創立110周年記念より発足)が経過しております。

そこで、ご相談となりますが、皆様ご自身を含め、周囲に功績を残されながら表に出ておられない同窓がおられましたら、是非とも支部役員の耳に届けていただきたいと思います。従事されていた仕事上でのご活躍を含め、地域活動や、支援活動等で活躍されている方も長工大賞受賞の対象者となります。

ご自身で努力され達成されている方、世のため人のため、に活躍されている方を是非ともご紹介ください。支部として本部へ推薦させていただきます。東京支部のホームページを介して推薦を依頼することもできます。お知り合いの役員経由も大歓迎です。締め切り日は設けておりません。いつでもお引き受けさせていただきますので、皆様からの推薦をお待ちいたします。

支部活動に必要な年会費は、従来を超えたご協力により収支が均衡した状態となっております。高齢化が避けられない今日ですが毎年のように退会者が継続される中、収入維持となっております。これは支部を運営しております役員にとって、心の大きな支えとなります。会費納入の減少傾向が続くと同窓会活動への新たな挑戦よりも、縮小の方向に舵を切ることになります。これが避けられていることは活動への励みとなっております。3年間、支部の活動を控えさせていただいた間に蓄積された繰越金は、「会員と役員の増強策」を含めたこれからの活動資金として活用させていただきます。皆様からの年会費納入に関し、心強いご配慮をいただき誠にありがとうございます。

さて、コロナ禍で長期に渡り中断しておりました支部の「総会・懇親会」ですが、昨年(令和5年7月)は4年ぶりに開催させていただきました。待ちに待った同窓との再会に大きな喜びを感じることができました。年齢が高まるにつれ、会場まで足を運ぶことが困難な方もおられ残念な場面もありますが、参加された皆さんの元気な姿を拝見し「開催を決定して良かった」と感じております。

今年(令和6年)も7月6日(土)に「総会・懇親会」を計画させていただきました。同窓会を運営している者として、一番うれしい場面は会場で皆さんとお会いできることです。会報誌「東京支部だより」の発行や、ホームページによる情報発信は、すべてが「総会・懇親会」の場で皆様にお会いできることを楽しみに、役員一丸となり活動した結果となっております。

「是非とも足を運んでいただけたら」と願いつつ、会場にてお待ち申し上げます。

◆*

地域に貢献する人材の育成

新潟県立長岡工業高等学校 校長 長井 英幸

長岡工業高等学校同窓会東京支部の皆様方には、日ごろから本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

本校は、社会情勢の移り変わりや時代の要請により学科改編を行い、生徒の適性や進路希望に合わせた学習内容の選択を可能にしています。また、生徒が将来の技術者、技能者に成長するために必要な基礎・基本を身につけることを主眼としながら、実社会での産業活動を意識し、インターンシップを通じた職業観の育成や、実習や課題研究等を通じた「ものづくり」感覚の定着と自己評価能力の育成、グローバル化する時代に対応できる英語力の強化、各種大会やイベントへの積極的参加による自己有用感、達成感の獲得などに重点を置いた教育活動を行っています。

そして、地域の産業界からの参画を求め、協働いただく中で、より実践的な工業教育を展開することにより、自ら積極的に考え工夫することが出来る人材、そして、エネルギー・環境、感染症問題、国際社会の政情不安の対応や情報技術の変革による IT、AI、IoT の作り手、担い手、高い専門性を持ち、地域の産業界に貢献できる人材の育成をしております。具体的な内容は、下記のとおりです。



<令和5年度 入学式の様子>

1 学習指導について

- (1) 基礎学力の定着や学習意欲の向上を図る。
- (2) 魅力ある専門教育の充実を図る。

2 進路指導について

- (1) 早期からの進路指導による進路意識・目的意識を醸成し、工業高校の優位性を生かした就職指導と国公立大学等への進学を希望する生徒に対する指導体制の強化を図る。
- (2) 企業や大学との連携によるインターンシップ等を通じた職業観の育成と専門知識の習得及び社会人としての意識を醸成する。

3 生徒指導について

- (1) 挨拶、服装、時間管理等当たり前のことが当たり前に行える基本的生活習慣を確立し、規範意識を高める。
- (2) 自他の思いやり、いじめ見逃しゼロからいじめを根絶する。
- (3) 薬物乱用防止指導及び交通安全指導を徹底する。

4 人権教育について

- (1) 人権教育を中核とした教育を推進する。
- (2) 生徒、教職員ともに人権意識を高める。
- (3) 様々な課題を抱える生徒に寄り添い、丁寧にかかわる指導を行う。

5 特別活動について

- (1) 生徒会活動の指導体制の充実を図る。
- (2) 限られた時間の中で活動を行うため、学校行事等の精選、部活動の数の見直しを図る。

6 教育環境の整備について

- (1) 清掃、整理整頓から安全・安心で落ち着いた教育環境を整える。

7 PTA・同窓会について

開かれた学校づくりで、学校の良きパートナー、サポーターとして連携を図る。

具体的な取組については、PDCA サイクルで確認し、具体的な目標が達成できるよう教育活動を行ってまいりますので、よろしく願い申し上げます。

最後になりますが、長岡地域の産業の担い手は、本校の同窓会の皆様が担っていると考えております。今後とも後輩のために、変わらぬご支援とご協力をいただきまようお願い申し上げます。



長工同窓会の未来創造

同窓会本部 事務局長 三川 俊克(S50e)

日ごろから長工同窓会の事業運営に格別なご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和 4 年 4 月から事務局に勤務して以来、あっという間に 2 年が経ちました。

令和 4 年度は、「母校創立 120 周年記念事業」の準備業務に没頭する日々でしたが、お陰様で記念式典・交流懇親会、母校への教育機器寄贈（大型スクリーン・高精度プロジェクター、小型ロボット、CNC フライス盤）など、記念事業を無事に終了することができました。これも東京支部をはじめとした県内外の同窓会員並びに関係者の皆様からの多大なご支援・ご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

令和 5 年度は、7 月 1 日に「東京支部の総会・懇親会」が開催されてお招きをいただき、9 月 9 日に「会員総会・交流懇親会」を開催（例年は 6 月開催）させていただきました。いずれもコロナ禍の影響で令和元年度以来 4 年ぶりの開催でした。

さて、母校に目を向けてみますと、自分たちの頃は木造校舎で男子生徒ばかりのバンカラな校風でしたが、現在は女子生徒が相当数を占め、校舎も新しくなってハイカラな校風に様変わりしたように感じています。また、卒業後の進路をみても、自分たちの頃は「就職 8～9 割・進学 2～1 割」でしたが、現在は「進学 6 割・就職 4 割」とのことです。

昨今の少子化による生徒数・学級数の減少と相応して、進学割合が増加（母校を最終学歴校とする者が減少）したことで、母校に対する想いや愛着心の希薄化が感じられ、これらが同窓会離れの要因のひとつとなっているのではないかと推察されます。

今後も同窓会活動を継続していくためには、卒業生の同窓会に対する想いや愛着心の醸成が必須と考えますので、忌憚のないアドバイスを頂戴できたらありがたいです。これまで諸先輩方が築き上げてこられた母校の伝統や産業界での活躍が現在も卒業生の進路（就職先）の礎となっています。優秀な人材（卒業生）が社会に出て大いに活躍してもらえるように、産業界とのつなぎ役や卒業生との橋渡し役が我等長工同窓会の大きな使命のひとつと考えています。

引き続き、相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



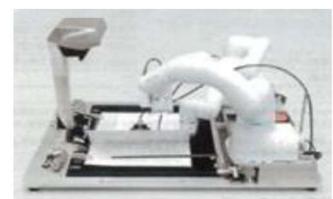
令和 5 年度 (2023 年) 総会・懇親会報告

総会・懇親会担当統括理事 宮田 隆(S32E)

久しく中止を余儀なくされていた総会・懇親会は満を持して令和 5 年 7 月 1 日オーラムにて開催されました。同窓生 64 名、来賓 5 名のご参加をいただきました。母校より長井学校長、同窓会本部より山下会長、三川事務局長、若波会の藤下会長、歌手の舞さくらさんです。尚、恒例となっている相互参加の村松高校の同窓の皆さんは今回不参加でした。

第 1 部の総会は、マンドリン同好会の伴奏の校歌斉唱で開会、来賓のご挨拶の後に活動状況報告、会計監査報告、役員改選などが計られ、続いて同窓会本部の提供により、母校 120 周年記念の大花火動画が上映されました。動画は令和 4 年の 8 月 3 日の長岡花火大会で同窓会がコラボで提供した超大型スーパーベスビアスで、しばし故郷の夜空に思いを馳せました。続いてマンドリン同好会による演奏が行われ、しばし聞き惚れました。

そしていよいよ第 2 部懇親会です。樋口昭顧問 (S29E) の乾杯に始まり各テーブルでは近況報告、



【Profile】

幟建友里 フルート奏者
 武蔵野音楽大学フルート専攻科首席卒業
 東京都内を中心にソロやアンサンブルで演奏活動を積極的に展開中
 武蔵野新人演奏会
 第 35 回フルートデビューリサイタル出演
 第 16 回フルートコンベンション In 高松 アンサンブルの部金賞 (1 位) 受賞
 第 2 回チェンマイ・ヒナステラ国際音楽祭 コンクール Honorable Mention 受賞
 その他国際コンクール多数受賞

【オリジナル CD album】

～Flute と Piano のための～suite (組曲)

1. March
2. Action
3. Waltz
4. Judge
5. Inspiration



新役員紹介

電子科実習の思い出

総会・懇親会担当理事 速水 均(S48e)

このたび、長工同窓会東京支部運営のお手伝いをする事になりました。先輩役員諸氏のご指導を仰ぎながら、微力ですが東京支部と母校の発展にお役に立てればと思っています。

私は長工卒業後、公衆電話機メーカーへの入社と同時に、大学の理工学部（夜間部）に入学し、4 年間、二足の草鞋を履きつつ、会社では公衆電話機や情報機器のハードウェア開発に従事しました。27 歳の時、構内交換機(PBX)に興味を沸き、PBX を製造販売する中堅通信機メーカーに転職しました。25 年ほど、PBX を中心に通信機器の方式・基本設計とソフトウェア開発に携わりました。

52 歳になった時、思い立って会社を卒業させてもらい、独立しました。その後、主にソフトウェア開発の受託を行い、現在に至っています。50 年近くを技術者として歩めたのは、上司や同僚及び客先関係者に恵まれたことや母校で受けた教育のおかげと思っています。当時の母校電子科教育で印象に残っていることが二つあり、以下に紹介します。今、思い返しても良い環境でした。

●電子科実習レポート

実験結果が予測範囲でも、範囲外でも吟味を行い、なぜそうなったかを考察に書け。

●日立製ミニコン HITAC-10 プログラミング実習

コンピュータの基本原理の授業や FORTRAN プログラミング実習は本当にワクワクしました。

3 年生の時、万年カレンダー印刷アプリを作りたくなくて、ある日の放課後一人夢中でプログラミング。なんとかその日のうちに完成し、万歳！

結局、長工時代の影響をまろに受けた形で、仕事は IT 分野の開発一筋でした。もうしばらく仕事した後、リタイアとなりますが、リタイア後は、自作 DC アンプのお守りをしながら、1960～1990 年代の ROCK のレコードや CD を聴きまくり、冬はスキーをやろうとひそかに決意しています。



自作真空管アンプ[DC プリ+DC メイン]



記録的な猛暑、残暑から一段落して当日は秋の快晴に恵まれて最高のゴルフ日和でした。

今回は長岡本部の同窓会 OB 会ゴルフ会にも参加を働き掛けましたところ、本部からご多忙中にもかかわらず長岡本部ゴルフ会会長を含む 3 名の参加ご協力をいただきました。過去 22 回コンペの長い歴史の中での初めての交流戦でした。今後更なる発展に繋がればと期待しています。

成績発表パーティーでも本部会員、東京支部会員ともに楽しい会話で締め括りができたこと、大変有意義な 1 日でした。



会員だより

随想

顧問 樋口 昭 (S29E)

第 22 号「東京支部だより」の色彩発刊は素晴らしいことである。発刊当時は継続発刊の是非の議論があった。経過とともに色彩発刊も議論されたが、体裁より内容の充実を期する等で白黒の発行であった。色彩発刊は時代とともに、多様化する価値観の創造であると思う。



世界人民共通の重要課題は、地球沸騰化時代と言われる温暖化に伴う地球レベルの気象である。以前にも憂いを記したが、深刻な状態が激増の譏許にあり、再び憂いは募る。氷河融解、海水面の上昇、積雪、融雪水減少等の自然保水能力の低下が報告されている。降水に関しては、豪雨、豪雪、時間的降水の記録が驚異的に更新され、やがて干ばつ、洪水による気候避難民が出て来る。

主なる原因は、二酸化炭素(CO₂)の排出である。脱炭素の時代は全世界が心一つにして立ち向かわねばならない時に、国家間、宗教間、民族等の対立がますます激化していることは、人間の愚かさを感じる。地球には国境はあるが天には国境はない。心を広く持て。

脱炭素の指導、強制は「気候変動枠組条約」(COP)しかないのか。国連で専門機関を作り、世界的に強制指導を望む。COP に参加している国、地域は 197 であるが、それぞれ自国の利益を優先し、その実行性は期待できない。

温暖化防止のカーボンニュートラルの実現目標は、CO₂ 排出量の多い中国(世界全体の約 30%)が 2060 年、米国(同約 15%)が 2050 年、日本(同約 3%)は 2050 年である。幾多の困難を乗り越えて早期実現を望む。

我が国では脱炭素は当然のこと、産学官共同で排出炭素の処理技術の開発、核エネルギーのリスク対応、新エネルギーの開発が急務である。ゲリラ豪雨による甚大災害の防止のために流域の森林管理、水田等の保水能力の拡大、精度の高い降雨予測による治水、利水ダムの総合的管理運営、広域的な水運用の実現などを望む。極論：九州の水を青森へ。「日本雨水資源化システム学会員」として心が馳せる。

コロナ終息後、AI 実用期に入った現在、多くの知恵が期待されると同時に偽りの情報も拡散する。「AI は正しい」と思う危うさ。「AI を作る人」「AI を使う人」「AI に使われる人」「AI を使えない人」、人間の賢さが問われる。AI から得た情報を使用した結果は、すべてが自己責任である。

東電福島原発の「処理水」が海へ放出される。この放出水は海水中トリチウム濃度 22 ベクレル以下であり、放出停止は 700 ベクレル(世界基準)を大幅に下回っているにもかかわらず、中国は「日本は全世界に核汚染のリスクを転嫁した」と批判している。これがいまだに中国の国民性である。戦時中の「オイッ、支那人」に思いをする。・・・三つ子の魂百まで。

時代が変われども尊い日本の伝統文化、道徳、武士道の厳守、伝承を望む。社会構造の改革と共に同窓会の目的の多様化が強られるが、120 余年の伝統ある「母校の教育方針の支援」は継承しなければならない。



越後長岡ふるさと会

副支部長 原 勝英(S46M)

我が長工同窓会東京支部と越後長岡ふるさと会との付き合いは、前支部長の樋口昭様に長岡市の越後長岡ふるさと会事務局（地域振興戦略部）より連絡が来たと聞いております。その創立総会、懇親会が開催されたのが、平成 27 年 5 月 31 日上野東天紅で長工同窓会東京支部から 21 名が参加しました。越後長岡ふるさと会には 20 団体が参加し当日は来賓を含め 300 名近くの方が参加され盛大に行われました。中でもミ・アモーレプロジェクトとして「故郷はひとつ」の長岡応援歌を阿木燿子作詞宇崎竜童作曲の曲が披露され、阿木燿子様本人も長岡応援団として出席されました。



越後長岡ふるさと会の年間行事は、総会・懇親会、ふるさと会フェア、長岡探訪ツアーの 3 本柱で会の運営が行われております。中でも私が楽しみにしていたのが「長岡探訪ツアー」です。平成 28 年 2 月 13 日、14 日の第 1 回から平成 29 年、平成 30 年までの 3 回。令和 2 年の第 4 回はコロナウイルス感染の観点から中止になりました。高校時代は現在の長岡地域の 8 割以上訪ねたことがなく、改めて長岡地域を振り返ることができました。万感の思いにつかりました。ただ残念なことは、第 4 回の「長岡探訪ツアー」の蓬平温泉、山古志、翌日長岡を巡る内容です。私の田舎の良さを会員に知っていただく良い機会でしたが、残念ながら、コロナにより中止になりました。令和 5 年にはコロナの感染症が 2 類から 5 類になり、徐々に「長岡探訪ツアー」第 5 回の開催の案内が来ましたが、残念なことに事務局より参加者が 12 名しか集まらず中止の連絡が来ました。残念無念。

しかし、総会・懇親会、「越後長岡ふるさと会フェア」の第 6 回目が開催され、我が長工からも参加いたしました。昨年より「越後長岡ふるさと会」の役員を仰せつかり、今後の活性化に尽力して参りたいと思いますので、是非皆さんのご協力をお願いします。



村松高等学校との交流会の開催

同窓会窓口 事務局長 成田 修(S44M)

3 月 20 日(祝)、対外交流団体である村松高等学校(以下”松高”と記す)東京同窓会の役員と当支部の役員との交流会を新潟県人会館で行いました。この交流会は両同窓会が 1 年交代で幹事を担当して毎年 2 月頃に実施しており、今年は松高が幹事で開催する年となっていました。松高は金子相談役、大橋会長以下、男性役員 7 名、女性役員 6 名の計 13 名の参加に対し、当支部は樋口顧問に参加していただき、永井理事長他 4 名の役員が入り、総勢 6 名と少な目の参加でした。会は昼食時間帯にも重なっていたため、松高が手配した幕の内弁当を食べた後、ビールや酒が入った意見交換会で話が盛り上がりました。松高も総会への参加者が少しずつ減少している傾向のようであり、過去に開催していた会場(パレスホテル)から新潟県人会館へ昨年度から会場を変更しており、参加会員の減少という面では当支部と同じ悩みを抱えているようです。当支部においても役員も含めて会員の高齢化に伴い、総会参加会員が減少しつつある現状であり、今後とも松高とは情報交換や相互協力をし合いながら同窓会活動を続けて行きたいと考えております。



「樋口昭様とキルトと私」

若波会会員・新潟県人会会員・キルト作家 鎌滝 津江子

人との出会いは様々で、その時々感慨深い想いをします。私は佐渡の玄関口両津に生まれ、高校生まで過ごしました。高校生までは“針”を持ったことはなく本を読み耽るような日々でした。



私は四十歳初めの頃から「キルト」を制作し始め、35 年が過ぎました。長きに

をお願いできないでしょうか。また、同期との懇親の場を持つ機会がありましたら是非ともその機会に役員として力をお貸しいただけないかお願いしててください。

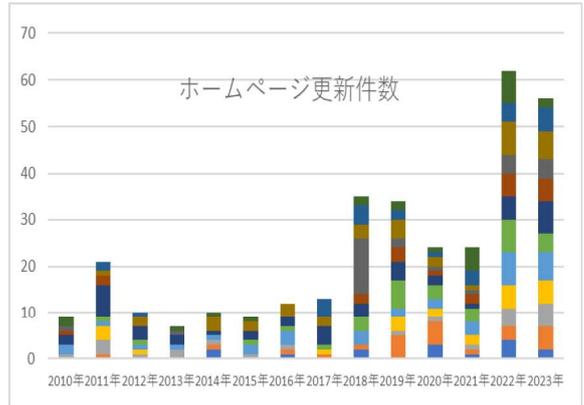
毎年、総会にご参加いただいている一般会員の皆様も是非とも伝統ある長工東京支部の維持、存続のためにご理解いただき、何卒お力添えをお願いしたいと思います。何かご連絡がございましたら事務局・成田(Tel : 044-766-7636)までお願いいたします。令和6年度も同窓生各位が一堂に集まり、総会、懇親会において同窓の絆を更に強くすることができることを祈念したいと思います。



支部ホームページの年別更新件数

ホームページ担当統括理事 奈良場 慶三(S46E)

ホームページをご覧くださいありがとうございます。右のグラフは2010年からの支部ホームページ更新件数を年別に表したグラフです。



2018年は支部創設40周年の年でイベントや「長工大賞」の投稿などで更新数が35件と増えています。2019年は松永先輩の投稿や各種のイベント開催が通常に行われていました。しかし、2020年になると新型コロナウイルス感染症のため各種イベントが自粛され更新数も24件と減っています。2021年もイベント自粛が続きました。2022年はコロナの影響でイベント自粛が続いているにも関わらず、62件と過去最大の更新件数になっています。これは松永先輩の投稿に加え、新たに野崎さんの投稿《人生の回想》が件数増加に貢献しています。2023年は少し自粛が解除されイベント投稿もありましたが、お二人の連載投稿により56件となりました。会員皆様の投稿をお待ちしています。



編集後記

広報・記録担当統括理事 野崎 敬策(S46e)

この度 支部だよりの編集委員長を仰せつかりました野崎です。

皆様から今まで以上の内容にとのご意見に耳を傾け、新たに表紙をはじめとして会員以外からの投稿をお願いしました。結果、陶芸家や音楽家 さらには刺繍工芸家等、気持ちよく寄稿いただきました。また、多くの方々からも寄稿いただき心より感謝申し上げます。



この支部だよりを心の支えとし長工 OB の絆を一層深く感じていただければ幸いです。

7月第一週の東京支部総会・懇親会に皆様とお会いできることを楽しみにしております。



編集委員

- 委員長 野崎 敬策 (S46e) 委員長補佐 川村 吾一 (S36E)
- 委員 塩入 晴夫 (S46M) 委員 永井 利矢 (S44M)
- 委員 今井 広 (S46M) 委員 奈良場 慶三 (S46E)
- 委員 加藤 智 (S40C) 委員 速水 均 (S48e)

東京支部ホームページの閲覧は「長工同窓会東京支部」で検索するか次の URL を入力 <https://choko-tokyo.sakura.ne.jp>

スマートフォンは右の QR コードから

